

| | | | | | |
|------|----------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 日本語D（話す） | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 西馬 薫 | 開講期・曜日・時限 | 前期 月曜日 3時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2年生 |

主題と概要

- ・エピソードを中心とした読み物教材を通して、キャリア形成に役立つ考え方や姿勢を学ぶ。
- ・聞き手に伝わる分かりやすい話し方、日本語の表現力を身につける。

到達目標

- ・ペアワーク、グループワークを通して、聞き手に伝わる分かりやすい話し方ができるようになる。
- ・他の学生の意見を聞くことにより、多様な価値観を認めることができるようになる。
- ・自分自身のキャリアプランを思い描くことができるようになる。

提出課題

授業内に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

口頭発表後、学生と教師間及び学生同士フィードバックを行う。

評価の基準

発表A（25％）、発表B（30％）、提出物・課題（25％）、授業参加度（20％）による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

- ・30分以上の遅刻3回で1回欠席とする。
- ・出席は毎回とる（5回以上欠席した場合は、単位を認定することができない）
- ・グループワークを中心とした授業のため、主体的に取り組んでほしい。

教科書

.使用しない。

参考図書

| | | | | |
|-------------------------------------|----------------------|-------|------|------------|
| .留学生と大学生のためのエピソードとタスクから描く私のキャリアプラン. | 菅長理恵・中井陽子・渋谷博子・伊集院柳子 | 凡人社 | 1650 | 9784867460 |
| .ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション. | 大島弥生・大場理恵子・岩田夏穂・池田玲子 | ひつじ書房 | 1500 | 9784894764 |

その他

授業内に資料を配付する。

授業計画

1. オリエンテーション、スケジュール、評価について
自分を伝える
2. 自分を伝える
3. 読解、グループディスカッション 「人について」
4. 発表A「動める」 導入、準備
5. 発表A
6. 発表A
7. 発表フィードバック
8. 読解、グループディスカッション 「異文化」
9. 読解、グループディスカッション 「メンバースhip型とジョブ型」
10. 読解、グループディスカッション 「転職」
11. 発表B 「説明する」 導入、準備
12. 発表B
13. 発表B
14. 発表フィードバック
15. 自己PR

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|---|
| <input type="radio"/> A: PBL（課題解決型学習） | <input type="radio"/> I: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| <input type="radio"/> U: ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> E: グループワーク |
| <input type="radio"/> O: プレゼンテーション | <input type="radio"/> K: 実習、フィールドワーク |
| <input type="checkbox"/> その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 【予習】事前に配布された資料に目を通し、語彙等の意味を確認しておく（2時間）
- 発表準備（1時間）
- 【復習】学習した日本語の表現やフィードバックした内容を確認しておく（1時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、学生同士が話し合う活動を通して、課題発見・解決能力を育て、他者との意見の違いが立場の違いを理解し、協力して物事を進めることができる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

学生同士の対話の機会を多く設け、必要に応じて教師への質疑応答の時間を設ける。

実務経験の有無及び活用

備考